

令和7年度 第3回 松江市生活環境保全審議会 会議録

1 日時 令和7年12月18日(木) 15:30 ~ 17:00

2 場所 松江市役所本庁舎 2F 東会議室

3 出席者

(1) 委員 8名

桑原委員、坂本委員、佐藤委員、永江委員、松本委員、森山委員、矢田委員、山口委員

欠席者 2名

安野委員、岩田委員

(2) 事務局 7名

余村環境エネルギー一部長、古藤環境エネルギー一部次長、石倉環境政策係長、
成瀬総括主幹、福間副主任行政専門員、岡崎主任主事、石原主事

4 次第

(1) 開会

(2) 環境エネルギー一部長あいさつ

(3) 議事

① (仮称)松江市環境基本計画(素案)について ……資料1

② 策定スケジュールについて ……資料2

(4) 閉会

5 会議経過 別記のとおり

6 事務局 松江市環境エネルギー一部環境エネルギー課

(1) 開会

○石倉環境政策係長

ただいまより、令和7年度第3回松江市生活環境保全審議会を開催します。

本日、議事に入るまでの進行役を務めさせていただきます環境エネルギー課の石倉でございます。よろしくお願いいたします。

この委員会は、松江市情報公開条例及び審議会等の公開に関する要綱の規定により、すべて公開にて行います。また、会議録を作成するために録音機を使用させていただきますことをご承知おきください。なお、議事整理及び録音の都合上、ご発言の際は挙手をいただき、マイクを使用してお発言くださいますようお願いいたします。

本日の会議は、概ね午後17時15分を終了予定時刻としています。円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、余村環境エネルギー部長よりご挨拶を申し上げます。

(2) 環境エネルギー部長あいさつ

○余村環境エネルギー部長

開会にあたり一言ご挨拶させていただきます。今日はお集まりいただきましてありがとうございます。市役所の駐車場所が無いということで一部報道されておりますが、皆さま大丈夫だったでしょうか。工事中でご迷惑をおかけしておりますが、本日の会議は新しい庁舎の会議室で行います。今回は第3回の会議として、事前に計画(素案)を送付させていただきました。計画自体はかなりボリュームがあり、100ページを超えています。今日は様々な意見をいただき、パブリックコメントにつなげていきたいと思っております。忌憚のないご意見をお願いします。

○石倉環境政策係長

委員の紹介につきましては、お手元にお配りしております委員名簿により、皆様のご紹介に代えさせていただきます。大変略式により恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで会議の成立についてご報告いたします。当審議会の会議開催につきましては、松江市の生活環境の保全に関する条例第27条により委員の半数以上の出席が求められています。本日は、委員10名中、8名がご出席ですので、会議の開催について成立いたしますことをご報告申し上げます。

(3) 議事

○石倉環境政策係長

ここから先の議事の進行につきましては、松本会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○松本会長

円滑な議事進行にご協力いただきながら、活発なご議論をお願いします。前回の会議の際もお話ししたかもしれませんが、フィンランドとドイツをSDGsの関係で視察してまいりました。GDPの面において、ドイツは日本を抜いていると思います。戦後の歴史も非常に似ている中、エネルギー・環境政策と国民の意識の高さの2つがによってSDGsは4位というスコアを出しています。松江市としても参考になる部分はあると思いますし、この会議で審議している計画にも反映できる場所があればと思います。事務局の皆さんが精力的に作られた計画をお示しすることになりますので皆さんからご意見をいただければと思います。また、本日もペーパーレスで行います。それでは、事務局より会議資料の確認をお願いします。

○石倉環境政策係長

ありがとうございます。本日の会議は、先ほど会長からもありましたとおりペーパーレスで行います。資料につきましては、お手元のタブレット内に表示させていただきますのでよろしくお願い致します。事務局側で説明内容と並行して該当ページを表示するように操作いたします。

本日の資料は、次第、委員名簿、資料1として(仮称)松江市環境基本計画(素案)、(説明資料)松江市環境基本計画(素案)、資料2策定スケジュールでございます。よろしくお願いします。

○松本会長

皆さんよろしいでしょうか。それでは、議題1の「(仮称)松江市環境基本計画(素案)について」を事務局より説明をお願いします。

○古藤環境エネルギー部次長

環境エネルギー部の古藤でございます。議事に入る前になりますが、前回、山口委員からアンケート調査の結果について、年代別で回答結果に差が生じていたかどうかというご質問がありました。前回の審議会の中でお答えできませんでしたので、この場でお答えさせていただきます。事務局側で年代別集計を行い、年代別で回答内容に偏りがなかったことがわかりましたのでご報告させていただきます。

それでは、議題1の「(仮称)松江市環境基本計画(素案)について」をご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

<議題1について、資料1を用いて以下の項目を説明>

- ・第1回、第2回審議会の振り返り
- ・計画の全体構成、主な改定のポイント

○松本会長

ありがとうございました。事務局よりご説明いただきました。タブレット内に表示されております、計画(素案)に対するご意見をいただければと思います。最初に私から感想を述べさせていただきます。私自身、松浦市長の時代から、この審議会で検討させていただいておりました。非常に見やすいものになっていると思います。市民の皆さんにも見てもらいたいなと思います。脱炭素先行地域に選定されており、ハードルが高い内容、目標になっているなと思います。環境主都まつえという基本理念は継承しつつ、施策や取組内容を少しずつ変えながら進めていくということだと思います。今、ご説明いただいた部分が、新規施策や取組を具体化する部分になると思います。説明にもあったとおり、動向や施策内容などを踏まえて、4R 推進プロジェクトを別の表現にしたり、自然共生プロジェクトを2つのプロジェクトに分けたりしています。色々な数値データもあります。今日皆さまには、新規施策の部分などを特にご意見いただければと思いますし。従来の計画と比べてどうかといったところのご意見もいただければと思います。

○矢田委員

何か具体的な取組を行うときには、また別の計画を作ることになりますか。

○古藤環境エネルギー部次長

この計画は基本的な方針を示すものになりますので、個別の具体的なものについては計画立てて進めていくことになると思います。

○矢田委員

この計画の概要版はつくられますか。

○古藤環境エネルギー部次長

これだけのページ数の計画になりますので、この計画自体を市民の方に読んでいただくのは難しいと思いますので、概要版を作りたいと思います。最終的には、計画書と概要版の2つを作ります。

○松本会長

前回は概要版はつくられましたよね。

○矢田委員

私も事前にいただきましたので、読んでみましたがなかなか難しいなと思っています。計画書の37ページですが、ここで書いてある施策の下に具体的な取組があるんですね。次の章をみると、具体的な取組内容が書いてありました。37ページの図の中にそれぞれ具体的な施策についても記載した方が良いと思います。例えば、「施策1.省エネルギーの推進」であれば、「省エネチャレン

ジシート」など 3 つありますよね。ここまで書いた方が分かりやすくなるのではないかと思います。

○古藤環境エネルギー部次長

37 ページの体系図の中で、「具体的な取組」と書いてありますが、ここをそれぞれの施策に対応した項目を書くということでしょうか。

○矢田委員

その方がわかりやすいと思います。また、計画内には色々な数値があると思いますが、取組を行うことによって、〇%、〇kg 削減できるという数値はないでしょうか。例えば 1 つめの「スマートライフ推進プロジェクト」には 6 つの施策がありますよね。数値として出るもの、出ないものがあると思いますが、施策を展開することでどれだけの効果があるのかわかれば良いと思います。これは難しいかもしれませんが。

○松本会長

なかなか難しいところですね。確かに、情報を入れることでイメージはつきやすいかもしれませんが、数値情報が増えすぎて煩雑になってしまう恐れもあります。このバランスをとらないといけないですね。第 3 章の 30 ページには、温室効果ガスの削減目標が載っていますよね。

○矢田委員

削減目標が設定されていますが、31 ページから 35 ページに載っている数値や具体的な取組との整合性はどうなっているのかなと思っています。

○松本会長

質問としては、削減効果として数値があがっているが、これはどのように計算しているのかということでしょうか。確かに、具体的にこんなことをするとこれだけ削減できますよというものがあるとわかりやすい部分もあるかもしれませんが、どうでしょうか。事務局から答えられますか。

○石倉環境政策係長

今の話は、31 ページから 35 ページのお話しでしょうか。それとも 42 ページに数値目標として、目標指標を(1)～(3)まで載せていますが、この目標指標の値と後ろのページに記載している具体的な取組によって削減できる量についてのお話しでしょうか。例えば、高効率機器を 1 世帯に 1 台ずつ入れると、〇kg ずつ削減できるので、目標としている 910 千 t-CO₂ に近づいていきますよね。こういった部分を数値化してお見せすることはできるとは思います。37 ページに記載している削減目標値は、42 ページ以降に記載している具体的な取組での削減量を 1 つ 1 つ計算して積み上げた数値ではありません。31～35 ページでは、目標達成に向けた取組の例をいくつか挙げて、実際に取り組んだ場合これだけ削減できますよという見せ方にしています。見せ方を少し工夫さ

せていただければと思います。具体的な取組によってこれだけ削減できますというものが計算できればお見せできるのかなと思います。

○松本会長

具体的な取組のいくつかは、計算できるものがあるかもしれませんね。今はそれを計算していないということですので、そのあたりをどうするかですね。一言付け加えるだけでもいいかもしれないですし、少し工夫してもらえますでしょうか。

○永江委員

私は、JA 女性部の立場で参加させていただいております。施策 18 の気候変動に強いまちづくりについてです。JA は県内に 11 地区あります。島根県は他県と比べて災害は少ないかもしれませんが、防災食などについて勉強をしているところです。「家の光」という雑誌がありまして、最近では防災についての情報が色々と書かれています。もし、トイレが使えなかったら他のものを使って簡易トイレにしましょうなど役立つ情報が書いてあります。火が使えない状況でも食べることができる防災食などについて JA 女性部では習っているところです。皆さん、色々な分野や立場からご出席されていると思いますが、それぞれが知っている知識などを集めて周知すると良いと思いました。話は少し変わりますが、皆さん殺虫剤をご存じだと思います。私も聞いて驚いたのですが、昔の殺虫剤は効かないそうで、特に粉の殺虫剤は効かないと言われています。どうやら、最近の虫は粉の殺虫剤を食べるそうです。最近では暑さの影響もあって虫の特徴が変わってきているかもしれません。これも気候変動の影響なのかなと感じていますが、他にも色々なことが変わってきていると思います。そういうことも勉強しながら、周知するのも気候変動に強いまちづくりの一つなのかなと思っています。

○松本会長

ありがとうございます。施策 18 の気候変動に強いまちづくりは新規施策となっています。重要なことですよね。計画書では、熱中症対策やクーリングシェルター、今お話のあった防災・減災対策も書いてありますね。今、JA 女性部でも取り組まれているとのことでしたが、色々な組織で意識啓発をされていると思いますので、ここがリンクするような仕組みがあると良いなと思います。今年は阪神淡路大震災から 30 年になる年です。私も学会を代表して、全国に向けて内閣府より、阪神淡路大震災を経て、教育界は何をしてきたのかを述べさせていただいております。大事なのは教育や訓練、情報提供など啓発の強化になると思います。事務局からいかがですか。

○古藤環境エネルギー部次長

ご発言いただいたとおりだと思います。教育や啓発は大事なことです。取り組んで生きたいと思います。

○永江委員

JAには、二部組織があり、フレッシュミズというものがあります。これには、主に子育て世代の方が入っておられます。食の分野について次世代の教育ということで、親と子が一緒に勉強する取組もありますので、まさに教育に関することかなと思います。色々な組織がありそれぞれが取組を行っていると思いますので、こういった組織を上手く利用していただければと思います。よろしくお願いします。

○松本会長

今の発言を受けてですが、計画書の70ページに訓練、情報提供および普及啓発と書いてありますが、「教育」という言葉を入れていただければと思います。例えば、「市民の防災意識とリスク対応力の向上に向けた訓練・教育…」というのはどうでしょうか。ご検討いただければと思います。

○森山委員

観光についてですが、私は元々、旅行会社で働いておりまして、観光は強い関心を持っている分野です。着眼点は素晴らしいなと思いました。観光客の方に向けて環境をネタにした商品をつくるのであれば、この計画の24施策それぞれがフォーカスされるべきネタになるのかなと思いました。既に環境配慮型の旅行商品をつくって販売された実績があるということでしたが、知らなかったので勉強になりました。観光事業者さんでいうと、環境に配慮した取組を行っている旅館があるかもしれませんし、松江市が環境配慮型の観光を打ち出すのであれば、賛同する事業者さんを募って商品化するのも良いかなと思う。今まで取り組んでいなかった事業者が参画することで取組の底上げにつながると思いますし、より面白い取組になるのかなと思います。また、一般の観光客だけをターゲットにするのではなく、行政や議会視察などもターゲットとしてはありなのかなと思います。いわゆる視察向けのプランですね。世界に誇る環境主都ということであれば、外国人もターゲットになるかもしれません。

少し話は変わりますが、環境配慮型の商品を集めて、ECサイトで松江市の環境配慮型商品として売り出すのも面白いのかなと思います。寄付付き商品も良いのかなと思います。自然再生センターでも焼酎を販売されていますが、そのストーリーは素晴らしいと思い共感しています。売れば売れるほど環境に良いというものがあればと思いました。

私はフードバンクしまねの理事もしているのですが、本当にお米が集まらなくて困っています。フードロスの話になりますが、お金を払って廃棄している事業者さんもいますので、そういった事業者さんと個別につながろうと思いますが、難しいのが実態です。市全体として大きな枠組みとして、フードロスとフードバンクの取組がつながる仕組みができると良いなと思っています。

○松本会長

重要な話がいくつもありました。フードロスについて、松江市内の小学校での教育や松江市の公式YouTubeにも動画があがっている思います。松江市だけでなく出雲市まで範囲を広げると、

ヨシを切ってタンブラーを作ったりしています。松江市と似ているような地域は他にもたくさんあると思います。フィンランドは国土の70%が森と湖なんです。松江も似たような雰囲気を感じます。ラムサール20周年にもなりますね。観光の話もでしたが、全国に展開するようなホテルは歯ブラシなどのアメニティを環境配慮型にしていることも多いですね。松江市は宿泊税を納めてもらいますが、この宿泊税を環境のために使っていただく流れになればいいなと思いますが、政策的なものなので難しいですかね。環境に配慮したこういったことに使ってるということになれば、観光客にPRできるのかなと思います。森山委員からは地域内のこととしてフードロス、地域外も含めた広い範囲のこととして観光というテーマでご意見をいただきました。観光については、計画書でいうと71~72ページのところになると思いますが、余白もありますし、森山委員の意見を盛り込んでいただきたいなと思います。ラムサールの話もしましたが、桑原委員から宍道湖漁協さんの立場から環境配慮型観光についてご意見いただけないでしょうか。

○桑原委員

はくちょう号さんが朝の便で出ていかれるのですが、拡充したいという話も聞きます。朝の便だとしじみ漁の様子も見れますし、環境と観光がつながるのかなと思いました。

○松本会長

ありがとうございます。桑原委員からご発言いただきました内容も計画に書いてもらえるといいなと思いますが、ご検討ください。

○森山委員

最近、宍道湖のシジミがGIマークを取得していただきました。登録された理由の一つとして、環境に配慮し、取るだけでなく循環型で保全もしているという点が評価されたのではないかと考えています。そういったストーリーもPRできるのではないかなと思います。

○松本会長

ありがとうございます。環境と観光が今の計画書で具現化しつつあるので、さらに内容を充実させていただければ嬉しいなと思います。

○余村環境エネルギー部長

少しよろしいでしょうか。松江市で観光戦略プランというものを策定しておりまして、その中では、環境の要素も含めた内容としております。また、計画するだけでなく、毎年進行管理をすることが大切だと思いますので、85ページに書いておりますが、審議会へも報告していきたいと思います。そのためにも、KPIを設定し、何をやったのか評価できる指標を設定していきたいと考えています。

○永江委員

どれだけ浸透しているかはわかりませんが、マイ箸プロジェクトというものがあります。お弁当を買うと割り箸がついてきますが、これも木を伐採してつくられており、使用後はごみになってしまいますよね。伐採しすぎると問題も生じると思います。JA 女性部での会議がある際はマイ箸持参になっています。松江市内で既実践されている企業もあると思いますが、そういうプロジェクトはもっと広がっていくと良いなと思いました。皆さんの話を伺いながら感じたこととして発言させていただきました。

○松本会長

ありがとうございます。マイ〇〇が広がってきましたよね。昔はマイバッグがこんなに主流になると思いませんでした。時間はかかるかもしれませんが、行動は変わりますので、地道にですが取り組んでいきたいと思います。

○山口委員

アンケートの結果でも要望が多かったと思いますが、情報提供の充実が重要なのかなと思っています。もっと、情報提供の充実に関する部分を広げても良いのかなと思いました。計画書の中で一部ありましたが、QRコードがありましたが良いと思いました。動画も有効な手段だと思います。

計画書の 37 ページに体系図がでできますが、それより前のページに体系図の中のプロジェクト名が出てきています。例えば、25 ページ、31～35 ページなどでしょうか。計画書としてのつながりを考えると体系図を最初の方に持ってくるなど最初の方でプロジェクト名を出さないと行けないのかなと思いました。

○松本会長

ありがとうございます。そうですね。目次の参考資料の下ところが余白があるのでここに、プロジェクト名だけでも簡単に説明しておくとも良いかもしれませんね。細かくは書かなくて良いので、詳細は 37 ページという形でまとめれば良いのかなと思います。QRコードについても良い意見をいただきました。あまり QR コードだらけになってもどうかと思いますが、効果的に使ってもらえればと思います。ありがとうございます。

○佐藤副会長

ざっと読みましたが、褒められることが無いなと思いました。どういうことかという、私は建設業ですが、優良工事表彰というものがあります。例えば、特に脱炭素に取り組んだ場合に表彰するような制度があれば良いなと思います。二酸化炭素の排出量を減らした、環境に配慮したコンクリートを使ったなど。建設業だけでなく、観光でも宿泊施設のボイラーを変更したなど、業種ごとに色々あると思います。そういった視点を入れても良いのかなと思います。

○松本会長

よくわかります。褒める仕掛けですよ。

○佐藤副会長

そうですね。表彰じゃなくても良いですが、何がいいですかね。

○松本会長

子供達向けにブルーツアーというものを立ち上げています。子供達に修了証を渡したりしますが、こういったものの企業版になりますかね。

○佐藤副会長

そうですね。企業版、団体版ですかね。そういった仕掛けがほしいなと思います。

○余村環境エネルギー部長

環境市民会議では取組をパネルにして紹介していますよね。観光でいうと、なにわー水さんが環境配慮として省エネや多様な方が使えるような構造にしたり、良い取組をされているところがありますので、表彰、紹介できればなと思います。

○松本会長

そういった制度があると取り組む方の目標にもなりますしね。

○佐藤副会長

良い事例はQRを使ったりして、広げていったら良いと思う。

○余村環境エネルギー部長

インセンティブがないと皆さんの取り組みが進みにくいですよ。そういった制度とあわせて、毎年進行管理もしますので、その場で共有できればいいですね。

○佐藤副会長

少し工夫して考えてもらえたらと思います。

○桑原委員

施策14の生物多様性の確保のところで、「生物多様性地域戦略」の策定検討とあります。一部は取り組んでいる自治体もあると思いますが、松江市も豊かな自然がありますし、是非取り組んでいただければなと思います。この地域の生物多様性と考えた時に、例えば外国からの外来種は言うまでもなく外来種ですが、琵琶湖からきた外来種は、松江では外来種でも琵琶湖では守るべ

き生態系になります。30by30も計画書に言葉としてできましたが、環境省の自然共生サイトをみると、全国で島根県だけまだ無かったような記憶があります。環境省の満喫プロジェクトの記載がありました。国交省になりますが大型水鳥の保護の関係を斐伊川水系でされているものもあります。広く斐伊川水系なので松江市も含まれるかもしれません。

○松本会長

ありがとうございます。また、この会議の後でも構いませんので何かありましたらご意見をいただければと思います。

○坂本委員

立派な計画書ができてきているなと思って見ておりました。温室効果ガスは2013年と比べると、2022年には16.4%減少していますが、まだまだ減らさないといけませんよね。分野で見ると、家庭部門をもっと減らさないといけませんと思いますが、あまり減っていないというのが印象です。会長からあったようにもっと教育に力をいれていく必要があるのかなと思います。

○松本会長

まさにそのとおりで、ドイツの話をしましたが、国民の理解が高いんですよね。

○坂本委員

島根や松江の人は真面目なので、こういうことをしたいからみんなでやろうと言うと協力してくれるのではないだろうか。東京や大阪では絶対にできないと思いますが、松江ならできると思います。

○松本会長

ありがとうございます。そうすると、市民会議の立ち位置が重要になりますよね。佐藤副会長いかがですか。

○佐藤副会長

そうですね。重要性を再認識しました。

○松本会長

皆さんからご意見をいただきました。この会議以降でも構いませんので何かありましたらご意見いただければと思います。

それでは、次の議事に進みたいと思います。議題2の「策定スケジュールについて」を事務局より説明をお願いします。

○古藤環境エネルギー部次長

議題 2 の「策定スケジュールについて」をご説明させていただきます。

<議題 2 について、資料 2 を用いて以下の項目を説明>

- ・12 月下旬から 1 月下旬にかけてパブリックコメントを実施。同期間は委員からの意見聴取期間とする。
- ・第 4 回審議会はパブリックコメント実施後、2 月中旬頃開催予定
- ・3 月に答申予定

○松本会長

ありがとうございます。パブコメについてありましたが、なかなか意見が集まらないんですね。私たち委員も意見があればいただければと思いますが、何よりも委員の皆さんにはそれぞれ職場がありますよね。周りの同僚や先輩後輩に周知してもらって、意見をいただければ嬉しいなと思います。

議事は以上となりますが、少し時間が余りました。皆さんから情報共有などあればいただきたいなと思いますがいかがですか。

○佐藤副会長

先日、まつえ水素活用協議会があり、出席しましたが、他自治体の事例として福島県の浪江町の方にお話しいただきました。浪江町では水素活用に向けて 1 枚の絵を描いたことで、あちこちで評判になり取組が広がってきたということでした。私も実施に絵を見て、良いなと思いました。水素は 1 枚の絵でしたが、環境全般となると難しいかもしれませんがそういったものがあると良いなと思いました。松江市はこんなことをするよというのが分かるようなものがあればいいですね。

○松本会長

今のお話しについて、いかがですか。

○余村環境エネルギー部長

そうですね。そういったものがあると面白いですね。コンサルさんもおられるので、知恵を出しながらできるといいですね。

○石倉環境政策係長

今回、コンサルさんにもご協力いただいています。計画書の 41 ページを見ていただきますと松江市の地図をベースにプロジェクトを重ねたようなものを作っています。今お話しがあったように、松江市の取組を絵にしていくようなことができればということは、既に相談しながら進めている所でして、郊外、街なかなどでエリア分けしながら表現できると良いなと思います。次回、お示しできれ

ばと思います。ありがとうございます。再生可能エネルギービジョンで一度、作りましたのでそのようなイメージであります。

○余村環境エネルギー部長

シジミの話もでしたが、写真を使ってもいいかもしれないですね。

○古藤環境エネルギー部次長

浪江町の絵には水素に関わるあらゆる取組が描かれています。担当の方がおっしゃったのは、絵があることで、事業者の方からこれは自分のところできると、提案をいただいたようです。なかなか一般の方が何をしたいのかわからないというところから、これだったらできるということで意見が出るかもしれません。

○松本会長

松江の取組として、水素やブルーカーボンなどが入るといいですよ。

100年後の未来の話をするとう核融合発電があるかもしれません。核と聞くと怖いと思われるかもしれませんが、そんなことはなくて、海の水があれば電気によって水素に変えることで発電できるようにフランスで実証実験が始まるようです。

○矢田委員

家庭部門の排出量を一番減らさないといけないが、この部分に対する施策が弱いなと感じました。今は周知や啓発といったものが多いので何かないでしょうか。

○永江委員

油石けんというものがあるのですが、他にも知恵を出せば色々出てくるのではないのでしょうか。

○佐藤副会長

先日、連合婦人会で講演させていただきました。その時のテーマは次世代に引き継ぐ環境でした。最後の方は、家庭での取組の話になりました。やはり、家庭での習慣が大切になるのだと思います。

○松本会長

最近、JAの女性部は男性でも入れるんです。私も佐藤副会長も入っているのですが、これはSDGsでいうジェンダー平等に関連してのことで、従来、家庭は女性という意識が強かったように感じますが、最近は変わってきています。みんなでやっていかなくてはいいですね。

○永江委員

ゴーヤのカーテンを家の前などやっています。

○佐藤副会長

環境市民会議でも毎年行っておりまして、配布からフォトコンテストまでしていますので、是非ご参加ください。

○松本会長

ありがとうございます。そろそろ時間となりましたので、ここで進行を事務局にお返しします。

(4) 閉会

○石倉環境政策係長

ありがとうございました。次回審議会の開催につきましては、2月中旬を予定しております。後日改めて、ご都合をお伺いしますので、スケジュール調整をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして令和7年度第3回松江市生活環境保全審議会を閉会いたします。本日は出席いただきありがとうございました。お気づけてお帰り下さい。